

竜雲舜虹苑

心

No.278

平成 30 年 9 月 発行

竜雲舜虹苑は地域の皆様の心と心をつなぐ虹の懸け橋でありたいと願っています。

愚かなカラス

昔 昔の その昔

お山にカラスがおったとき

自分の色が黒いので

朝から晩まで気になって

毎日毎日イヤだった

ある日絵の具を買ってきて

真っ白じろに身体じゅう

隅から隅まで塗ったとき

そこで皆さんコンニチハ

カラスの集まり 行ったとき

はじめのうちは良かったが

後から雨が降ってきて

白だか黒だかわからない

お化けガラスになっちゃって

皆に嫌われ追い出され

アホウ アホウと鳴いたとき

正福寺住職 佐藤 嘉辰



「仏生山地区防災訓練に参加して」

主任生活相談員 福家 有加



平成30年9月9日曜日に
仏生山小学校にて仏生山地区の
「自分たちの町は自分たちで守る」
をテーマに防災訓練がありました。
た。応急手当、AED心肺蘇生、
煙避難体験、消化活動訓練、介
助訓練の部門に分かれて総勢四
百名の方が参加しました。

私たち職員7名は、介助訓練
の部で車椅子の操作方法を指導
させて頂きました。参加された
方からは、「意外に車椅子は重
いですね」、「声かけは大事で
すね」、車椅子に乗った小学生
からは「後ろから下がるのは怖
い」、「乗り心地良いな」等
の感想を聞くことができました。
先日より、西日本豪雨、北海
道地震と起きています。香川県
も例外ではありません。今後起
るとされている南海トラフに
備えて、施設では火災訓練だけ
でなく地震訓練、備蓄の確保等
しています。今後も、訓練を重
ねて行き、普段お世話になって
いる地域の方とも協力して防災
意識をよりいっそう高めていき
たいと思いました。



「法人防災訓練について」

施設長代理 三宅 啓太郎



平成30年9月10日に竜雲学園の全事業所を対象にした
合同防災訓練を行いました。今回は、施設が停電した状況
を想定し、各事業所ですべて初動対応として何をするべきか
考え、訓練を実施しました。

訓練の内容は、発電機を使用して痰を吸引する器械の電
源確保、トイレの排水用の水の確保、簡易タンカを使用し
ての救助訓練等を実施しました。そして最後に備蓄食料を
調理して全事業所の職員で実際に味わい訓練を終了しまし
た。今回の訓練では電気が使用できな
い事で施設の様々な機能が失われると
いう現実を疑似体験する事ができたと
思います。被災後のライフラインの復
旧においては電気が一番早いと言われ
ていますが、それでも熊本地震の際は
全復旧に一週間かかったそうです。そ
の期間、施設で利用者様が生活してい
く為には何が必要かを今回の訓練を通
して具体的に考える事ができました。
防災備蓄品の数量種類、マニュアルを
再度見直し、利用者様の安全が確保で
きるように「その時」に向けて準備し
ていきたいと思えます。



社会福祉法人竜雲学園 竜雲舜虹苑

特別養護老人ホーム
短期入所サービス
通所介護サービス
認知症型通所サービス
老人介護支援センター
ケアハウス

高松市仏生山町
甲 3100 番地 2
TEL:087-888-5800
FAX:087-889-1004

「講師派遣のご案内」

介護支援専門員 大本徳子

会合や集会、サロン活動等、舜虹苑の
職員がお手伝いをさせて頂きます。

・健康体操

・認知症サポーター養成講座

・介護技術のコツ等

ご気軽にお問い合わせ下さい。

受付時間 AM9時～16時

(電話087-889-1091)



「秋のふれあい祭り」

日時 11月4日(日) 10時半～15時半

場所 竜雲舜虹苑

今年度はイベントとして「瀬戸フィルハーモニー交
響楽団」、「南高校ダンス部」があります。
地域交流ホールでは「ほのぼの作品展」を開催いた
します。絵画、書道等作品を地域の皆様からも多数
の応募お待ちしております。お問い合わせは、竜雲舜
虹苑までお願い致します。

担当 福家・大本

